

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 馬場 和子

様

議会報告会 市民産業建設常任委員会 班

和田 一繁

開催日時	令和2年1月19日(日) 13時30分～15時00分
開催場所	大学サテライト・プラザ彦根(アル・プラザ彦根6階)
出席議員	議員氏名(役割) 矢吹 安子(開会挨拶) 和田 一繁(閉会挨拶) 上杉 正敏(視察報告(足利市、観光予算説明)) 長崎 任男(受 付) 安澤 勝(視察報告:富岡市) 中川 睦子(視察報告:武蔵野市、受 付) 小川 隆史(司会進行) 森野 克彦(記録) ※司会進行者以外は全員ファシリテーター
参加者数	彦根観光協会(1000人委員会)5人 近江ツーリズムボード4人 彦根商工会議所 3人 彦根ホテル・旅館組合 5人 滋賀大学学生 8人 滋賀県立大学学生 5人 一般参加者 11人 委員以外の市議会議員 3人 議会事務局職員4人 計 48人
内 容 (内容及び時間配分)	第1部 令和元年度市民産業建設常任委員会行政視察報告 第2部 彦根城を核とした観光施策について意見交換(ワークショップ形式) (時間配分) 13:30 開会挨拶 13:35 議員紹介・ワークショップ説明 13:40 第1部 行政視察報告(足利市、富岡市、武蔵野市) 13:50 令和元年度彦根市観光事業に係る予算概要説明 13:55 第2部 「彦根城を核とした観光施策」について、テーマごとに5班に分かれワークショップ形式にて課題抽出、解決策について意見交換 14:55 まとめ、閉会挨拶、アンケート記入 15:00 終了

ワークショップ
で出た
意見等（一部
抜粋）

【第1部】

- 先進地の取組事例発表
市民産業建設常任委員会として行政視察した調査結果を報告
 - ① 栃木県足利市 台風19号の災害における観光産業への影響について
(上杉正敏)
 - ② 群馬県富岡市 富岡製糸場の世界遺産登録による観光施策について
(安澤 勝)
 - ③ 東京都武蔵野市 武蔵野クリーンセンターについて (中川睦子)
- 令和元年 彦根市の主な観光施策の内容説明 (上杉正敏)
 - ・行催事事業、誘客宣伝、広域観光振興、フィルムコミッション
インバウンドへの取組 予算ならび内容を説明

【第2部】

テーマ別に5班に分かれ、委員会メンバーがファシリテーターを務めワークショップ形式で、課題の抽出、解決策について意見交換を実施した。

●A班 テーマ「インバウンド誘客について」

担当：長崎 任男

主な課題：

観光予算の増大 海外PRに対する予算がない/カフェや休憩場所が無さすぎる
駅を出たところのインフォメーションセンターがわかりにくい/ネット環境が酷すぎる
多言語対策があまりできていない/誘客するターゲットの国が定まっていない
外国人観光客を対象とした企画がない、知らない PR不足

解決策：

予算拡大しネット関連の構築/ターゲットの国を決めるべき。施策がそれぞれ違う
インフォメーションセンターをわかりやすく/QRコード、SNSの活用
市内学生、留学生にボランティアで通訳をしてもらう/ゆっくり休憩する場所が必要 カフェを作る（浜松城公園みたいに）/彦根市、観光協会、商工会議所の役割分担と連携
専門の部署を作る/飲食店メニューの多言語化

●B班 テーマ「周遊観光・観光消費増加策について」

担当：和田 一繁、中川 睦子

主な課題：

PR不足 どこに何があるか分からない/発信の各世代のリーダーがいない
各市町との連携が見えてこない/夕方以降の観光資源少ない/彦根名物が無い
バス、鉄道との交通連携ができていない/周遊バス利用/長浜、米原、近江八幡との連携
彦根城以外の観光スポットが無い/夜型イベントが無い（食がない）

解決策：

低料金の長浜～近江八幡までの周遊バス/彦根ブランド作る 飲食 食文化を向上させる
世代に対して SNS など活用/コンサート、イベント誘致/佐和山、荒神山に琵琶湖テラスの
ような物を作る/農業体験の商品作る/地域の子どもに彦根城、彦根の歴史を学ばせる
児童、生徒にボランティアで観光客に彦根城を案内させる/戦国時代の食事体験

●C班 テーマ「交通整備について」

担当：森野克彦

主な課題：

タクシーの数が少ない/国道8号線を含む市内渋滞/城内の交通整備/シャトルバスが無い
彦根城から市内名所に行く路線がない

解決策：

城周りの道路一方通行にする/ご城下巡回バスの駅～城～夢京橋往復運行
電動カートの導入/堀内の歩行者天国化/タクシー増やす/彦根駅から佐和山までの交通の
便を良くする/定額料金のシャトルバス運行/鉄道とバスの連携

●D班 テーマ「宿泊客誘客施策（夜型観光など）について」

担当：上杉正敏

主な課題：

観光型宿泊施設が少ない/旅行会社との連携が少ない/大きなコンベンション会議ができる
会場がない/観光のプロが役所にいない/夜観光するところがない/1日で回れる
観光パンフレット等発信が遅い/イベントを知らないひとが多い

解決策：

旅行会社やビューロー主催の商談会への参加/広告予算執行の前倒し 複数年の予算化
滋賀県内、京都との広域連携/キャッスルロードの店の夜間時間延長
三大学の学会、研修会、研究会などの誘致/文化イベント、スポーツイベントの誘致

	<p>●E班 テーマ「彦根城の文化財を活用した観光施策について」 担当：矢吹安子、安澤 勝</p> <p>主な課題： 木俣屋敷の活用と保存/博物館の入場者が全体の2割しかない/お城の桜保存と再生 銀座付近景観形成整備/彦根城で祭りを開催する/開国記念館が有効に活用されていない 城内Wi-Fiが整備されていない(特に博物館)</p> <p>解決策： 木俣屋敷をまず開ける(一般公開)議会で積極的に提案する/木造等を活用する 彦根に縁のある食材を用いた店を開く/2022年は彦根城総構え400年の発信 テレビ、映画と関連した企画/開国記念館カフェの誘致/Wi-Fiの整備多言語の活用 庁内に観光部の創設</p>
<p>考察</p>	<p>今回の議会報告会は、一般参加者の他に事前に観光に携わっている団体、協会、企業、大学等に声をかけさせていただきました。彦根城を核とする観光施策に対して、テーマごと数多くの課題を抽出。やはり現場の現状を含め、行政、観光関連の施設との情報共有、連携がうまく機能していない。特にテーマに共通して言えるのは、彦根城内のネット環境の不備、ゆっくりと休める所が無いという意見が多かった。もっと観光に対しての予算増額や組織編成など解決策に対しても参加者から活発な意見、アイデアをいただきました。</p> <p>議員が現場の現状(声)を知る事、具体的な解決策については、行政に対しても提言・提案などをしていかななくてはならないと考えます。議員と専門分野の皆さんが意見交換をする議会報告会も今後必要であると感じました。</p>

※ 添付するもの

- ・回収したアンケート
- ・写真 数枚(当日の様子がわかるもの、データ提出も可)

※ 提出期限：開催後、7日以内に議会事務局あて提出